

問う、語る、考える。

開港都市にいがた 水と土の芸術祭2012 連続シンポジウム
自然との共生—人、まち、地域の自然力をいかす
シンポジウム総合コーディネーター●大熊 孝
新潟大学名誉教授、NPO法人新潟水辺の会代表、水と土の芸術祭実行委員会参与

第1回シンポジウム “自然との共生”とは？ —3・11震災から学ぶ

舞い「ここに在ることから」

●堀川久子(ダンサー、水と土の芸術祭2012ディレクター)

講演「3・11大津波を受けて、これからも海に生きる」

●畠山重篤(NPO法人「森は海の恋人」代表)

講演「自然と人間の関係の基層—日本における自然信仰の意味」

●内山 節(哲学者、立教大学大学院教授)

パネリスト ●大熊 孝 ●内山 節 ●畠山重篤 ●堀川久子

●篠田 昭(新潟市長、水と土の芸術祭実行委員長)

コーディネーター ●遠藤麻理(フリーアナウンサー)

2011 **12|11**(日) 13:00-16:30(12:30開場)

だいしホール

※会場に駐車場はありませんので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

入場無料・定員250名(要申込・定員になり次第締切)

申込受付:2011年10月23日(日)~12月7日(水)

申込み先:TEL.025-243-4894(新潟市役所コールセンター/8:00~21:00)

mizutsuchi@city.niigata.lg.jp (水と土の芸術祭実行委員会事務局)

主催・問い合わせ:水と土の芸術祭実行委員会 TEL.025-226-2625 mizutsuchi@city.niigata.lg.jp

<http://www.mizu-tsuchi.jp/>

水と土の芸術祭

検索

当日の様子は、**USTREAM**で中継します。

<http://www.ustream.tv/channel/mizu-tsuchi>

西新潟市民会館(新潟市西区小針2-24-1)の研修室では、
中継映像をプロジェクター上映します。

領域を超えて語り合う、人間の過去・現在・未来。今、新潟から問い、考えたい。

第1回シンポジウム “自然との共生”とは？ —3・11震災から学ぶ

自然と共に生きる、とはどういうことだろうか。3月11日の東日本大震災以後、あらためて自然と共に生きる知恵、思想や暮らしの文化が問い直されている。来年開催する水と土の芸術祭2012へ向けて、水と土、人間と自然のあり方を根底から語り合う、第1回シンポジウム。



内山 節 うちやま たかし
哲学者。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授。NPO法人・森づくりフォーラム代表理事。1950年東京生まれ。東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をはじめて40年がたつ。著書に『共同体の基礎理論』（農文協）、『時間についての十二章』（岩波書店）、『文明の災禍』（新潮新書）など。



畠山 重篤 はたけやま しげあつ
牡蠣養殖業。1943年中国上海生まれ。気仙沼水産高校を卒業後、家業を継ぐ。海の世界を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることに気付き「牡蠣の森を慕う会」を結成。89年より、漁民による広葉樹の植林運動「森は海の恋人」運動をすすめる。



堀川 久子 ほりかわ ひさこ
ダンサー。1955年新潟市生まれ。即興する体をもとめて78年田中混に出会い覚醒する体について学ぶ。声のパフォーマンスを経て踊り始める。田中混と舞塾と共に85年に山梨県白州町へ移住、農業をしながら踊る。その労働と自然との共生の生活は身体、踊りへ大きな影響を与える。98年新潟市へ移住。現在は新潟市を拠点に国内外で様々な形で、人の住む空間での踊りの活動を行なっている。



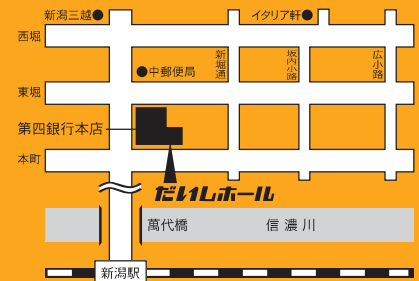
大熊 孝 おおくま たかし
工学博士、新潟大学名誉教授、NPO法人新潟水辺の会代表。1942年台北生まれ、新潟市在住。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、専門は河川工学、土木史。自然と人の関係がどうあればいいかを川を通して研究し、川の自然環境を守るとともに、治水・利水のあり方を住民の立場を尊重しながら考察している。著書に『利根川治水の変遷と水害』（東大出版会）、『洪水と治水の河川史』（平凡社）、『川がつくった川・人がつくった川』（ポプラ社）等。



遠藤 麻理 えんどう まり
フリーアナウンサー。新潟市（旧巻町）出身。平成12年より、新潟県民エフエム放送株式会社FMPORTの番組に出演。レギュラー番組に「モーニングゲート」（月～金曜朝6時50分～10時放送）、「遠藤麻理のライフステーション」（土曜昼11時45分～12時放送）。各種イベントやフォーラムの司会・コーディネーターなども行う。



篠田 昭 しのだ あきら
新潟市長。1948年新潟市生まれ。上智大学外国語学部卒業。新潟日報社編集局学芸部長兼編集委員、論説委員兼編集委員などを経て、2002年に新潟市長選に立候補し初当選。現在3期目。



だいしホール

新潟市中央区東堀前通7-1071-1
(第四銀行本店内)
TEL.025-229-8111

- 新潟駅よりタクシーで5分
- 新潟駅万代口よりバスで「吉町」行き「本町」下車徒歩1分

来年開催!! ● 開港都市にいがた 水と土の芸術祭2012

転換点～地域と生命(いのち)の再生に向けて

先人の努力に感謝しながら、新潟の地に育まれた「水と土の文化」を、アートやプロジェクトを通じて体感する「水と土の芸術祭」。2012年は、私たちの生き方を問い直すきっかけとなった東日本大震災を踏まえ、テーマを「転換点」としました。

会期:2012(平成24)年7月14日(土)～12月24日(月・祝)

会場:新潟市内 主催:水と土の芸術祭実行委員会

<http://www.mizu-tsuchi.jp/>

水と土の芸術祭

検索

水と土の芸術祭2012連続シンポジウム 自然との共生—人、まち、地域の自然力をいかす

異なるものと生き、いかしあう、暮らし・思想・芸術とは—。毎回視点を変え、多彩なゲストが掘り下げます!

今後の予定

第2回 2012年7月14日(土)芸術祭開幕日

第3回 2012年9月(予定)

第4回 2012年11月(予定)

他、シンポジウム特別編や「みずつち学校」も開催!

問い合わせ先 ● 水と土の芸術祭実行委員会事務局
〒951-8507新潟市中央区西堀前通6番町894番地1
西堀6番館ビル5階 新潟市水と土の芸術祭推進課内 TEL: 025-226-2625 FAX: 025-228-7370